

NO	書名	巻次/副書名	著者名	出版年	出版社	内容	現在場所	請求記号	備考
9	津波の霊たち	3・11死と生の物語	リチャード・ロイド パリー // 著	2021.1	早川書房	英国人ジャーナリストは、東日本大震災発生直後から被災地に通い続け、宮城県石巻市立大川小学校の事故の遺族たちと出会う。取材は相次ぐ「幽霊」の目撃情報と重なり。「黒い迷宮」の著者による迫真のルポ。	文庫	369	パ
8	魂でもいいから、そばにいて	3・11後の霊体験を聞く	奥野 修司 // 著	2017.2	新潮社	「誰にも話せませんでした。死んだ家族と“再会”したなんてー」未曾有の大震災で愛する者を喪った人びとの奇跡の体験と再生の記録。『新潮』『G2』掲載を改稿して書籍化。	一般・哲学	147	オ
7	悲しいときは、思いっきり泣けばいい		香山 リカ // 著	2014.3	七つ森書館	東日本大震災から3年。現在でも、自治体職員の心のケアに関するサービスを続けている精神科医・香山リカが、しんどさを抱えるすべての人へ贈る、生きる処方箋。	一般・哲学	146	カ
6	自然災害とストレスマネジメント	それでも僕らは歩みだす	磯野 清・著	2012.3	文芸社	阪神・淡路大震災の被災地で働く教師たちに実施した調査結果を検証。当時の状況や心理状態、震災後に経験したこと、震災が及ぼす影響などをまとめる。また、著者の震災体験を綴るとともに、防災・災害ストレスについても考察。	書庫	369	イ
5	心のケア	阪神・淡路大震災から東北へ	加藤 寛 // 著	2011.9	講談社	心のケアの実際の活動と、そこで大切なこととは。16年間、神戸で傷ついた心の回復に尽くしてきた精神科医・加藤寛が、阪神・淡路大震災以来の経験をふまえ、ノンフィクションライター・最相葉月にわかりやすく語る。	書庫	493	カ
4	3・11後に心のフタが壊れてしまった人たち	「疑似被災」という病	堀之内 高久 // 著	2011.9	産経新聞出版	東日本大震災の後、直接被災していない人たちも、心理的な「疑似被災」を受けた。震災ストレスによる心身のトラブルを予防する正しい知識と適切なケアを紹介。直接被災者のための心のケアの基本知識なども解説する。	一般・社会	369	ホ
3	震災と心のケア	子どもの心の傷がPTSDになる前に	片山 和子 // 共著	2011.7	日東書院本社	災害によって懸念される子どものPTSD(心的外傷後ストレス障害)は、どのようなケアで軽減できるのか? 子どもの医療と発達教育に関わる3人の著者が、災害に遭った子どもとどう向き合ったらよいかをQ&A方式で解説。	書庫	493	カ 複本あり
2	災害ストレス	直接被災と報道被害	保坂 隆 // 編著	2011.6	角川書店	東日本大震災は、その報道によっても多くのストレス患者を生み出した。予期不安や睡眠障害など、災害ストレスをどうケアすべきか、正しい知識とストレス対処法を紹介。	書庫	493	ホ
1	ココロの復元力!	災害時のメンタル力を高める!	前田 京子 // 監修	2011.5	シネマファスト	他の防災本ではあまり触れられない、災害時にココロを落ち着かせるためのメンタルヘルスケアを紹介。そのほか、知っておきたい災害の基礎知識、最新ケータイ活用法、非常時に使えるアイテムの作り方なども解説します。	書庫	369	コ